



2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年4月14日

上場会社名 モビルス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4370 URL <http://mobilus.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)石井 智宏
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)加藤 建嗣 (TEL)03(6417)9523
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の業績(2022年9月1日~2023年2月28日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	805	14.1	60	△61.6	△48	—	△40	—	△117	—
2022年8月期第2四半期	706	—	158	—	82	—	80	—	54	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	△19.91	—
2022年8月期第2四半期	9.38	9.01

(注)2023年8月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(参考) 持分法投資損益 2023年8月期第2四半期 — 百万円 2022年8月期第2四半期 — 百万円

※EBITDA(営業利益+ソフトウェア償却費+減価償却費+株式報酬費用)

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	2,281	1,989	87.2
2022年8月期	2,649	2,189	82.6

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 1,988百万円 2022年8月期 2,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,752	11.6	△190	—	△184	—	△276	—	△46.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期2Q	5,958,794株	2022年8月期	5,927,284株
② 期末自己株式数	2023年8月期2Q	173,306株	2022年8月期	2,396株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期2Q	5,944,730株	2022年8月期2Q	5,766,831株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う行動制限の緩和等により景気の持ち直しの兆しが見られる一方で、不安定な世界情勢の影響等から資源価格の高騰や、金融資本市場の変動等により先行きが不透明な状況が継続しております。

当社のビジネス環境としては、外食産業の採用活動の再活性化を受けて、コールセンターにおける人材不足が深刻化しており、またその解消見込みが見通しにくいことから、コンタクトセンターの効率化及び自動化へのニーズは引き続き高い状況となっております。

当第2四半期累計期間の売上高については、当社の主要事業であるSaaSサービスは、コンタクトセンターの効率化に対する需要の高まりを受け、コアプロダクトであるMOBI AGENT(モビエージェント)が順調にユーザー企業数を伸ばしており、金融、メーカー、サービスと業界を問わずにリーディング企業に採用を頂きました。また、AI電話自動応答システムMOBI VOICE(モビボイス)は、コンタクトセンターのオペレーターの業務負荷軽減を目的とするなどの背景から、ユーザー企業が拡大してきております。2023年2月末時点で、当社SaaSプロダクトの契約数は291件(前年同期比110%)となりました。プロフェッショナルサービスは、カスタマイズ案件及び有償カスタマーサクセス案件の獲得が前年と同水準に推移しました。イノベーションラボサービスは、引き続き既存案件が継続したことで、前年同期と同水準に推移しました。また、費用面においては、SaaSサービスのうちMOBI VOICE(モビボイス)を利用した従量課金売上増加に伴う費用の増加、前事業年度後半からの組織強化を目的とする積極的な採用にともなう人件費の増加、広告宣伝活動の強化及び本社移転にともなう一過性のコスト増から、売上原価および販管費が増加いたしました。

また、当社が受託したシステム開発案件において、開発の途中段階で案件が中止となることが明らかとなりましたので、第2四半期会計期間において当該案件に係る仕掛品評価損56百万円、売掛金に対して貸倒引当金繰入額9百万円を計上しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は805百万円(前年同期比14.1%増)、営業損失は48百万円(前年同期は営業利益82百万円)、経常損失は40百万円(前年同期は経常利益80百万円)、四半期純損失は117万円(前年同期は四半期純利益54百万円)となりました。

なお、当社はSaaSソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、サービス別の売上高は、以下の通りであります。

サービスの名称	第11期第2四半期累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	第12期第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
	販売高(千円)	販売高(千円)
SaaSサービス	375,264	481,047
プロフェッショナルサービス	232,440	225,100
イノベーションラボサービス	98,631	99,537
合計	706,336	805,685

また、当社が重視している経営指標の推移は、以下の通りであります。

ARR(注1)の推移

	2022年8月期				2023年8月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
ARR(千円)	671,979	712,187	715,943	772,556	812,100	890,399
うち直販(千円)	257,401	277,806	287,704	319,848	345,633	379,285
うち代理店(千円)	238,373	242,773	240,040	262,760	276,840	307,288
うちOEM(千円)	176,204	191,606	188,197	189,947	189,627	203,825

(注1) ARR: Annual Recurring Revenueの略語であり、毎年経常的に得られる当社製品の月額利用料の合計額。四半期末月のMRR(毎月経常的に得られる当社製品の月額利用料の合計額)を12倍することにより算出。

サブスクリプション売上高(注2)の推移

	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期 第2四半期
サブスクリプション売上高(千円)	543,969	702,133	416,295
売上高全体に占める割合(%)	44	45	52

(注2) 経常的に得られる当社製品の利用料の12ヵ月間の合計額。

サブスクリプション型のリカーリングレベニューに関わる契約数(注3)及び契約あたりの平均MRR(注4、注5)の推移

	2022年8月期				2023年8月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
契約数	249	264	266	272	280	291
契約あたりのMRR(千円)	166	164	165	178	185	196

(注3) OEMを除く。

(注4) MRR: Monthly Recurring Revenueの略語であり、毎月経常的に得られる当社製品の月額利用料の合計額。

(注5) OEMを除く。四半期末月のMRRを契約数で除することにより算出。

直近12ヵ月平均解約率(注6)の推移

	2022年8月期				2023年8月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
解約率(%)	0.75	0.97	1.00	1.15	1.19	1.16

(注6) OEMを除く。「当月の解約による減少したMRR÷前月末のMRR」の12ヵ月平均。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,627百万円となり、前事業年度末に比べ404百万円減少いたしました。これは主に納税等による現金及び預金の減少365百万円、売掛金の減少38百万円、仕掛品の増加16百万円があったことによるものであります。固定資産は651百万円となり、前事業年度末に比べ37百万円増加いたしました。これは主に本社移転に伴う有形固定資産の増加14百万円及びソフトウェアの増加23百万円によるものであります。

この結果、資産合計は2,281百万円となり、前事業年度末に比べ367百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は291百万円となり、前事業年度末に比べ168百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少64百万円、未払消費税等の減少25百万円、契約負債の減少45百万円及び未払金の減少30百万円があったことによるものであります。

この結果、負債合計は291百万円となり、前事業年度末に比べ168百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,989百万円となり、前事業年度末に比べ199百万円減少いたしました。これは主に新株予約権（ストックオプション）の行使による増加1百万円、譲渡制限付株式の発行による増加15百万円、自己株式の取得による増加99百万円及び四半期純損失の計上117百万円によるものであります。

この結果、資本金437百万円、資本剰余金1,403百万円、利益剰余金247百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月14日に公表いたしました業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては、2023年4月14日公表の「特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,632,479	1,267,212
売掛金	302,142	264,026
仕掛品	31,294	47,993
貯蔵品	118	115
前払費用	42,492	41,490
その他	22,785	15,310
貸倒引当金	—	△9,130
流動資産合計	2,031,312	1,627,019
固定資産		
有形固定資産	18,119	32,486
無形固定資産		
ソフトウェア	544,940	568,364
その他	526	486
無形固定資産合計	545,466	568,851
投資その他の資産	49,817	49,757
固定資産合計	613,403	651,095
繰延資産	4,625	3,307
資産合計	2,649,341	2,281,422

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,253	30,085
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払金	101,237	71,125
未払費用	7,683	3,071
未払法人税等	73,268	8,456
未払消費税等	26,629	1,080
契約負債	66,004	20,587
預り金	10,299	8,377
賞与引当金	35,830	48,728
資産除去債務	6,500	—
流動負債合計	459,705	291,512
負債合計	459,705	291,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	428,573	437,360
資本剰余金	1,394,740	1,403,527
利益剰余金	365,296	247,952
自己株式	△31	△99,986
株主資本合計	2,188,579	1,988,854
新株予約権	1,056	1,056
純資産合計	2,189,635	1,989,910
負債純資産合計	2,649,341	2,281,422

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	706,336	805,685
売上原価	293,522	397,051
売上総利益	412,814	408,633
販売費及び一般管理費	330,090	457,586
営業利益又は営業損失(△)	82,723	△48,953
営業外収益		
受取利息	8	7
雑収入	114	36
協賛金収入	—	13,000
営業外収益合計	122	13,044
営業外費用		
支払利息	630	526
為替差損	243	393
株式交付費償却	1,178	1,317
本社移転費用	—	885
雑損失	456	1,180
営業外費用合計	2,508	4,304
経常利益又は経常損失(△)	80,337	△40,213
特別損失		
固定資産除却損	876	7,055
仕掛品評価損	—	56,523
貸倒引当金繰入額	—	9,130
特別損失合計	876	72,708
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	79,461	△112,921
法人税、住民税及び事業税	31,057	842
法人税等調整額	△5,697	3,580
法人税等合計	25,360	4,422
四半期純利益又は四半期純損失(△)	54,100	△117,344

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	79,461	△112,921
減価償却費	73,899	101,055
株式報酬費用	1,919	8,842
雑損失	456	1,180
株式交付費償却	1,178	1,317
固定資産除却損	876	7,055
仕掛品評価損	—	56,523
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	9,130
受取利息及び受取配当金	△8	△7
支払利息	630	526
売上債権の増減額(△は増加)	△26,191	37,149
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,998	△73,219
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,551	△2,167
未払金の増減額(△は減少)	990	△30,111
前受金の増減額(△は減少)	△61,942	—
契約負債の増減額(△は減少)	16,775	△45,416
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,617	△25,549
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,026	12,898
その他	4,247	13,357
小計	71,098	△40,357
利息及び配当金の受取額	8	7
利息の支払額	△615	△438
法人税等の支払額	△4,714	△73,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,777	△114,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,781	△28,696
無形固定資産の取得による支出	△116,647	△117,765
繰延資産の取得による支出	△2,651	△664
資産除去債務の履行による支出	—	△5,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,080	△153,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△40,000	—
長期借入金の返済による支出	△6,834	—
株式の発行による収入	644,888	1,771
自己株式の取得による支出	—	△99,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	598,054	△98,183
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	540,751	△365,266
現金及び現金同等物の期首残高	1,083,453	1,632,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,624,205	1,267,212

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間に、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式の発行により、発行済株式数が31,510株、資本金及び資本準備金がそれぞれ8,787千円増加しております。

また、2022年11月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、取得株式数220,000株、総額100,000千円を上限として、2022年11月14日から2023年2月28日の期間で自己株式の取得を行いました。これにより当第2四半期累計期間において自己株式を170,910株取得し、自己株式が99,954千円増加しました。

これらの結果、当第2四半期会計期間末において、資本金が437,360千円、資本剰余金が1,403,527千円となっております。